

1 単元名 球技 (バスケットボール)

2 単元の目標

- (1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにし、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 (知識及び技能)
- (2) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 球技に自主的に取り組むとともに、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。 (学びに向かう力、人間性等)

3 単元について

(1) 教材観

球技は、集団と集団で攻防を展開し、得点を取り合って勝敗を競うことをねらいとし、チームや自己の課題に取り組んだりゲームを楽しんだりする運動である。したがって、協力して練習し、攻防の作戦を立てて勝敗を競い合う過程や結果に楽しさや喜びを味わうことができるようにすることが大切である。そのため、個人やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けての運動の取り組み方を工夫するとともに、技能を生かした攻防の仕方を工夫し、個人や集団の技能を活用できるようにすることが重要な教材である。

(2) 生徒の実態

球技に対しては興味関心が高く、個人や集団の技能の向上や勝敗だけでなく、仲間とともにゲームをすることに楽しさを感じている。練習では互いに助言をし合ったり、励まし合ったりする姿も見られる。しかし、練習方法や作戦を工夫する活動には課題が見られる。また、「難しい」といった理由から球技を苦手としており、練習やゲームへの取り組みが消極的な生徒も若干名見られる。

(3) 指導観

指導にあたっては、個人や集団の課題の解決に取り組み、技能の習得に応じてゲームの楽しみを実感できるようにしたい。苦手な生徒も積極的に取り組める雰囲気作りや、球技の特性を深く味わわせるために、練習の方法や相手に応じた作戦の内容の発展を目指したい。そのために話し合いや、互いに助言し合う学び合いの場面を設けていきたい。

4 単元の評価規準

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ①技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、具体例を挙げている。 ②練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出したりしている。	○技能 ①味方が操作しやすいパスを送ることができる。 ②ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。	①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。	①作戦などについての話し合いに貢献しようとしたり、一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしたりしている。 ②健康・安全を確保している。

5 指導と評価の計画 (10 時間扱い)

時	1	2	3	4 (本時)	5	6	7	8	9	10
学 習 の 流 れ	0	○健康観察 ○本時のねらいと内容の確認 ○準備運動								
	10	オリエンテーション	○シュート練習 (フリースロー2本)		○チーム練習 ・前時の反省を生かし、課題を解決できる練習や相手に応じた作戦を話し合う。			振り返りとまとめ		
	20	習得技術の確認	・シュート練習をグループで相互評価させながら取り組む。ICTの活用		○リーグ戦① ・総当たりのリーグ戦を行う。 ・審判や試合順を各チームのリーダーで決める。		○リーグ戦② ・1部リーグと2部リーグに分けてゲームを行う。 ・各リーグ終了後に1部リーグ最下位と2部リーグ1位で入れ替え戦を行う。		○トーナメント戦① ・リーグ戦の結果を基にトーナメント表を作成し、試合順と審判の分担を考えさせる。 ・リーグ戦とトーナメント戦の違いについて気付かせる。	
	30	学習の進め方	○チーム練習 ・レイアップシュートや鳥カゴなどの実践的なパス練習、3対2をチームの実態に応じて取り組む。		・リーグ戦の勝敗によって、1部リーグと2部リーグに分ける。					
	40	知識の学習								
50	ワークシートの活用	○学習のまとめと本時の振り返り ○次時の確認 ○健康観察								
評 価 の 機 会	知			①記述					②記述	総 括 的 評 価
	技		①観察			②観察			②観察	
	思				①記述 観察		②記述 観察		②記述 観察	
	態			②観察				①観察		

6 本時の展開（4／10 時間）

(1) 本時の目標

○選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）

(2) 準備・資料

○バスケットボール、得点板、デジタルタイマー、ホワイトボード、学習カード

(3) 展 開

時間	学習内容と学習活動	教師の指導・支援（◆評価規準と方法）
導 入 5 分	1 集合、整列、あいさつをする。 2 準備運動（体操、補強運動）をする。	<ul style="list-style-type: none"> 健康観察を行い、見学者がいる場合には、できる範囲で参加したり、仲間にアドバイスしたりするように指示をする。 準備運動を効果的に行うことができるようにする。 必勝法という言葉を使って、勝つための練習方法や作戦を工夫する意欲を高める声掛けをする。
展 開	3 本時のねらいと学習内容を確認する。 ・前時の課題と本時のめあてを学習カードで確認する。	
	<p>チームの必勝法を見つけるためには、どのような課題があるだろうか。 チームの強みや課題を見つけて、ポイントを伝え合おう。</p>	
3 5 分	4 チームの強みや課題を見つけて、練習方法を考えて練習を行う。 〈予想される生徒の活動〉 (1) シュート練習 ・対人 (2) 相手をかかわす練習 ・1対1、2対2、3対2 (3) ディフェンス練習 ・鳥かご 5 チーム練習を生かし、ゲームをする。 ・チーム間でルールの確認を行い、スムーズにゲームを運営する。 〈確認するルール〉 ・6分ゲーム（交替は3分経過後） ・男子対女子の場合は女子の得点を倍にする。 6 場や用具の片付けをする。	<ul style="list-style-type: none"> チームの強みや課題を仲間に伝えることができない生徒には、前時までの練習や試合を振り返り、観察するポイントを明確にすることで、仲間に伝えることができるようにする。 チームの強みをより伸ばす課題を設定するのか、チームの課題を解決する課題を設定するのかを選択することで、課題設定の視点を明確にできるようにする。 課題解決のための練習方法が見つからない場合には、ホワイトボードに提示してある練習例を参考にすることで、課題に応じた練習方法を選択できるようにする。 ゲーム開始前に、練習で意識したことや工夫した作戦（チームの必勝法）を意識したゲームができるようにする。 前向きな声をかけ合い、明るい雰囲気で行っているチームを称賛する。 スムーズに片づけができるよう、役割分担を明確にする。

ま と め 1 0 分	<p>7 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の振り返りの記入 ・ 次時の活動の課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 必勝法を見つけるために、重視した強みや課題について記述する。 ・ 課題解決のために仲間に伝えたポイント、仲間からもらったアドバイスを記述する。 ・ 必勝法をより確実なものにするために、次回取り組んでみたいことを記述する。 </div> <p>8 集合、健康観察、挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに、気付きや考えのよさを取り上げて、称賛する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆課題解決のポイントや改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 (思考・判断・表現)【記述・観察】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ けがや体調不良者がいないか確認する。
--------------------------------	--	---